

学部(学科)・学群(学類)インデックス

学部・学群	学科・学類	求める学生像	学修内容	取得資格	受験資格	推奨資格	頁
外国語学部	英米学科	<ul style="list-style-type: none"> 世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人 英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人 国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人 	高い英語運用能力と世界の文化的・社会的事象の知識を修得するとともに、「英語学・英語教育」「国際文化社会」「ビジネス」の専門分野を学びます。将来のキャリアを意識しながら、国際的な視野でグローバルに活躍できる実践力を養成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(英語) ●高等学校教諭一種免許状(英語) 			P018
	中国学科	<ul style="list-style-type: none"> 英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人 多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人 修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人 	実践的な中国語運用能力の修得を目指し、語学教育を行うとともに、中国及び中国語圏の文化・社会・歴史についても専門的に学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●高等学校教諭一種免許状(中国語) 			P020
	国際関係学科	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人 英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人 	平和、貧困、人権、環境などの国際問題全般と、東アジア、アメリカを中心に世界の地域情勢を深く学びます。また国際理解に必要な語学力を養います。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(社会・英語) ●高等学校教諭一種免許状(公民・英語) 			
経済学部	経済学科	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人 大学で専門分野として学んだ経済学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人 	理論と実践の統合で現実の地域経済、国民経済、国際経済を的確に分析し、グローバルな視点から政策立案できる能力を育成します。			<ul style="list-style-type: none"> ●日商簿記検定 ●ITパスポート試験 ●基本情報技術者試験 ●応用情報技術者試験 ●ファイナンシャル・プランニング技能検定 	P026
	経営情報学科	<ul style="list-style-type: none"> 企業をはじめとする様々な組織の経営活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人 大学で専門分野として学んだ経営学、会計学、情報科学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人 	「経営」、「情報システム」、「会計」の3つの分野を柱に、実践的な教育でIT社会にも対応する高度な能力を持ったビジネスパーソンを育てます。				P028
文学部	比較文化学科	<ul style="list-style-type: none"> 継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人 異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人 	文学、思想、言語、歴史、美術、生活文化などの様々な文化領域について、比較の視点から総合的に学修できます。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(国語・英語) ●高等学校教諭一種免許状(国語・英語) ●学芸員 			P032
	人間関係学科	<ul style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人 真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人 	人間の存在、行動などを社会環境や自然環境などとの関連において学修します。心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯教育学、生涯スポーツ学などを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(社会) ●高等学校教諭一種免許状(公民) ●認定心理士 ●社会福祉主事任用資格 ●社会教育士(社会教育主事任用資格) ●学芸員 			P034
法学部	法律学科	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人 大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人 	法的思考力・実践的問題解決能力を修得することを目的に、憲法・民法・刑法をはじめとする各分野の法理論、法解釈、現実社会を動かしている判例、それらを支える基礎法分野を体系的に学んでいきます。教員と学生とが議論を尽くす演習科目が中心です。			<ul style="list-style-type: none"> ●司法書士 ●行政書士 ●宅地建物取引士 ●社会保険労務士 ●ビジネス実務法務検定 	P038
	政策科学科	<ul style="list-style-type: none"> 国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人 大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人 	都市計画・まちづくり、環境、社会保障など様々な分野の「政治」、「公共政策」に関する理論、それを支えるフィールドワーク調査、統計処理、これらを実践的に学びます。政策立案に関連する法分野も履修します。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭一種免許状(社会) ●高等学校教諭一種免許状(公民) 			P040
地域創生学群	地域創生学類	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人 地域社会に対する責任感と使命感を有する人 	幅広い教養と地域に関する総合的理解、充実した演習・実習による実践的な専門知識を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程認定修了資格(定員10名程度) ●障がい者スポーツ指導員(初級・中級) 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉士 ※20名を超える場合は選考を行います。 		P044
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	<ul style="list-style-type: none"> 化学・エネルギー・環境に関心を持ち、その理解・応用の基礎となる知識・論理の修得を目指す人 大学で学んだ知識を活かし、大学院での高度な知識の修得や、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人 	人類が直面している環境問題を解決するため、自然・環境と調和した化学技術とシステムの開発を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ●毒物劇物取扱責任者 	<ul style="list-style-type: none"> ●第一種・第二種衛生管理者(要実務経験1年) ●衛生工学衛生管理者 ●甲種危険物取扱者 ●甲種消防設備士(特類を除く) ●第一種・第二種作業環境測定士(要実務経験1年) ●廃棄物処理施設技術管理者(要実務経験2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●公害防止管理者(大気1種・水質1種) ●技術士・技術士補 ●高圧ガス製造保安責任者(甲種化学) ●環境計量士(濃度関係) ●一般計量士 ●放射線取扱主任者 ●エックス線作業主任者 ●二級ボイラー技士 ●エネルギー管理士 	P048
	機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人 明確な目標を持ち、そのための努力を惜まず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人 国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人 	環境の視点から機械工学の基礎、創造性、応用力を養い、「豊かな社会」と「継続可能な社会」をかなえる21世紀対応型の「ものづくり」を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> ●一級小型自動車整備士(要実務経験3年) ●自動車整備管理者 ●管工事施工管理技士(2級・要実務経験1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術士補(機械) ●機械設計技術者(3級) ●機械・プラント製図(機械製図CAD作業3級) ●高圧ガス製造保安責任者(甲種機械) ●危険物取扱者(乙種・丙種) 	P050
	情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 情報環境の生み出す諸問題に関心を持ち、解決しようとする意欲を持っている人 明確な目標を持ち、そのための努力を惜まず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人 	人間社会や環境における様々な課題について、電子・情報・通信技術の本質を捉えた解決法を提案するために、人工知能やロボット制御、画像処理、センサー技術など、最先端の情報技術を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> ●基本情報技術者試験 ●電気通信主任技術者 ●画像処理エンジニア検定 ●応用情報技術者試験 ●陸上無線技術士 		P052
	建築デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> 建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人 明確な目標を持ち、そのための努力を惜まず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人 誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人 	資源・エネルギーやエコロジーに関わる研究分野と実践領域を統合し、建築学を基本に、建築・地域システムと環境の共生を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> ●一級建築士 ●二級建築士 ●木造建築士 ●建築施工管理技士 (1級・要実務経験3年、2級・要実務経験1年) ●建築設備士(要実務経験2年以上) ●管工事施工管理技士 (1級・要実務経験3年、2級・要実務経験1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●一級建築士 ●二級建築士 ●木造建築士 ●建築施工管理技士 (1級・要実務経験3年、2級・要実務経験1年) ●建築物環境衛生管理技術者 ●コンクリート技士・主任技士 ●CASBEE建築評価員 ●建築設備士 ●管工事施工管理技士 ●コンクリート診断士 	P054
	環境生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> バイオテクノロジー、生態保全、環境マネジメントに取り組む強い意欲を持っている人 生物の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学と化学に深い関心を持っている人 エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人 	便利で環境にやさしい材料・製品の開発のためのバイオテクノロジー、またそれを環境・生態系に配慮し、社会で活かすためのマネジメント手法を学びます。		<ul style="list-style-type: none"> ●ピオトップ管理士(1級・要実務経験7年) ●公害防止管理者 ●環境計量士 ●環境カウンセラー ●環境マネジメントシステム(ISO14001)審査員補 		P056

※求める学生像(アドミッション・ポリシー)の詳細については大学公式ホームページをご覧ください。

https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance_exam/



■取得資格：所定の科目の単位を修得することで、卒業と同時に資格が得られるもの
 ■受験資格：所定の単位を修得することで、在学中もしくは卒業と同時に、または卒業後一定の実務経験を積むことで資格・受験資格が得られるもの
 ■推奨資格：在学中、もしくは卒業後、試験に合格することで資格が得られるもの ※経済学部・法学部法律学科・地域創生学群及び国際環境工学部では教職課程を開設していません。

各学部・学科等の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

		観 点				
		豊かな「知識」	知識を活用できる「技能」	次代を切り開く「思考・判断・表現力」	組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	社会で生きる「自律的行動力」
基盤教育における学位授与方針		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

学部・学群	学科・学類	観 点				
		豊かな「知識」	知識を活用できる「技能」	次代を切り開く「思考・判断・表現力」	組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	社会で生きる「自律的行動力」
外国語学部	英米学科	<ul style="list-style-type: none"> 世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「ビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探究し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。
	中国学科	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の4技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。
	国際関係学科	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門の見地から自分の考えや判断を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。
経済学部	経済学科	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門の見地から自身の考えや判断を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。
	経営情報学科	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要なとされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門の見地から自身の考えや判断を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。
文学部	比較文化学科	<ul style="list-style-type: none"> 文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけているとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。
	人間関係学科	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。
法学部	法律学科	<ul style="list-style-type: none"> 社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法的な問題を抽出し、その解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。
	政策科学科	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。
地域創生学群	地域創生学類	<ul style="list-style-type: none"> 地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術や、実践的に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	<ul style="list-style-type: none"> 数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、化学に関する専門知識と実践力を身につけ、それらの知識を化学工業、エネルギー問題、環境問題と関連づけて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学分野の技術開発に必要とされる基本的な実験技術、データ整理、科学的な解析能力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学分野の学修を通じて、自ら得たデータや解析結果にもとづき化学の視点から論理的に思考・判断することによって、問題解決法を生み出す応用力を持つとともに、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学分野の実験・実習科目やインターンシップ、卒業研究などを通じて、地域や組織での活動において自分の考えを相手に効果的に伝える技術や、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学分野の学修を通じて、化学技術者としての社会的責任感と倫理観を身につけ、地球規模で抱えているエネルギー問題や環境問題への関心を持ち続け、問題解決に向けた意欲と行動力を有している。
	機械システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をふまえた広い視野を持って重要な概念や知識を体系的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 機械システム分野の技術開発に必要とされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 機械システム分野の学修を通じて、各方面で自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。
	情報システム工学科	<ul style="list-style-type: none"> 数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、情報系工学と関連分野の基礎知識を有し、その人間社会や環境における意義を体系的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報系工学分野の技術開発に必要とされる情報通信、画像・音声処理、人工知能、計測制御、ソフトウェア開発、電子・集積回路設計などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報系工学分野に関する学修を通じて、人間社会や環境における様々な課題について、電子・情報・通信技術の本質を捉えた解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報系工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを他者に効果的に伝え、発展的な議論を行い、相互に啓発し合いながら、協力して問題解決に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報系工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。
	建築デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> 数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築学分野の技術開発に必要とされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。
	環境生命工学科	<ul style="list-style-type: none"> 数学・化学・生物・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学・環境科学、環境マネジメント学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境生命分野に関する化学・生物・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境生命分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境生命分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境生命分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

教員紹介 (50音順)

 社 社会システム研究科兼任
 環 国際環境工学研究科兼任
 法 法学研究科兼任
 地 地域創生学群兼任
 工 国際環境工学部兼任
 基 基盤教育センター兼任
 戦 地域戦略研究所兼任
 共 地域共生教育センター兼任
 技 環境技術研究所兼任

外国語学部

英米学科	
ARNOLD, Wayne E.	社 Specialization in 20 th -century Modern American literature. In the seminar we study cosmopolitan life in New York City and the American Dream.
伊藤 健一	社 I specialize in interpretation and Anglo-American studies.
WILLIAMSON, Rodger S.	社 I specialize in comparative culture studies and the life and literature of Lafcadio Hearn (小泉八雲).
KOPP, Rochelle	Specialization in human resource management, leadership, and organizational behavior.
木原 謙一	社 Specialization in late 19 th - and early 20 th -century Irish literature and 19 th -century British Romantic poetry.
CREASER, Fiona	社 Specialization in comparative culture and gender studies.
齊藤 園子	社 My field of study is literature in English with a special interest in expatriate writing. I also work on Model United Nations programs.
鮫島 千明	Specialization in Irish literature. My research focuses on W. B. Yeats and Noh theatre.
寺田 真一郎	Specialization in innovation, mainly focusing on Internet business ecosystems.
DELGADO, Rodolfo	Specialization in tourism businesses, marketing, and intercultural communication.
平野 圭子	社 I am a sociolinguist and my main research interest is language variation and change.
HAILES, Adam	社 I conduct research into Shakespearean theatre and the concept of pleasure. My classes focus on innovations in media forms through reference to Shakespeare and British film.
MAEDA, Brooke	Specialization in finance and asset pricing. My research focuses on the Japanese share market.
松田 智	Specialization in global business.
雪丸 尚美	社 Specialization in second language acquisition and second language teaching. Research focuses include learning differences, dyslexia, and extensive reading.
LARSON-HALL, Jenifer	社 Specialization in second language acquisition and second language teaching. Research focuses include statistical methods, phonological acquisition, and language attrition.
READER, Rosemary	Research focuses on translation and intercultural aspects of sociolinguistics including humour, identity and politics.

中国学科	
胡 玉華	社 中国語教育、主にコミュニケーション能力をアップさせるための教室活動を研究しています。
白石 麻保	社 開発ミクロ経済学の分野で中国を対象に実証研究を行っています。経済学のフレームワークからよりよく実態を説明するための分析を心がけています。
武井 満幹	社 中国古典文学が専門で、陶淵明、『文選』を中心に魏晉南北朝時代の文学について研究しています。日本の漢詩文にも関心があります。
鳥谷 まゆみ	専門は中国近現代文学です。20世紀中国のメディアを対象に、現代文学・文化の表象を研究しています。
平田 直子	社 中国語の発音が古代から現代までにどのように変化し発展してきたかを研究しています。授業では中国語の音声について学びます。
堀地 明	社 専門は中国近世近代史と日中関係史。現代の中国事情と日中関係にも関心があり、中国を観察しています。中国語で中国の過去と現在について熱く討論しましょう。
山本 進	朝鮮後期の経済史、特に財政史と貨幣史について研究しています。
葉 言材	現代中国語の表現と現代中国社会・中国映画・中国武侠小説について教育を行っています。

国際関係学科	
阿部 容子	社 知的財産権や標準化の国際制度について研究しています。授業ではますます複雑化する政治・経済、国内・国際関係をどう捉えたらよいかを学びます。
大平 剛	社 戦 国際協力について学びます。なぜ国家は援助を行うのか、そこにはどんな思惑が潜んでいるのかを考察し、国家間関係についての理解を深めます。
北 美幸	社 専門はアメリカ史・アメリカ研究です。特に、移民やエスニック・マイノリティに関する様々な問題について学びます。
金 鳳珍	社 専門は近代東アジア国際関係史、比較思想です。講義では、19世紀後半から現代までの東アジア国際関係史、地域秩序論、比較思想について学びます。
篠崎 香織	社 専門はマレーシア地域研究で、人の移動や民族間関係を研究しています。東南アジア関連の授業を担当します。
下野 寿子	社 専門は現代中国政治と中台関係です。授業では、中国・台湾を中心に政治・歴史・対外関係などを学びます。
中野 博文	社 戦 アメリカ政治外交史を学びます。世界政治全体の発展の中で、今日のアメリカの姿を描くことに努めます。
久木 尚志	社 階級・エスニシティなどの観点からイギリスの研究をしています。授業では、その現状・成りたちを多面的に捉えます。
政所 大輔	専門は国際関係論、国際機構論です。特に、国際規範の形成と伝播、深刻な人道危機下の市民保護、日本の多国間外交について研究しています。
李 東俊	社 朝鮮半島を中心にした東アジア国際政治を研究しています。授業では、地域としての韓国・北朝鮮と、朝鮮半島問題をめぐる国際関係について学びます。
柳 学洙	社 主な研究分野は朝鮮半島の政治経済です。授業は東アジア経済論、世界経済論、経済学の基礎などを担当します。
渡邊 真理香	アメリカでマイノリティとされる人々の演劇や小説を研究しています。教育活動では学生の英語運用能力の向上を目指しています。

経済学部

経済学科	
畔津 憲司	社 専門分野は労働市場に関する経済分析です。法や制度が雇用や賃金の動きにどのような影響をあたえるのかを調べています。
牛房 義明	社 戦 技 専門は環境経済学、エネルギー経済学です。現在はエネルギー（主に電力）に関する経済分析に取り組んでいます。
魏 芳	社 国際貿易や海外直接投資など国境を越える経済活動がなぜ起こるか、どのような影響を及ぼすのかについて学びます。
後藤 宇生	社 競争政策、共謀と多市場接触、価格差別、交渉等に興味があります。
後藤 尚久	社 日本の金融制度とマクロ経済について研究しています。最近は特に、銀行の行動が経済に与える影響を研究しています。
朱 乙文	社 専門分野は、主に、ミクロ経済分析を用いる不確実性と情報の経済学です。近年、ネットワーク産業についても興味を持って取り組んでいます。
田中 淳平	社 バブル経済や不況・恐慌のメカニズムについて研究しています。
田村 大樹	社 地域経済を専攻しています。インターネットの普及が、私たちの日常生活をどのように変えているかについて研究しています。
土井 徹平	社 近代以降の日本経済の発展が、社会や人々の生活にどのような影響を与えてきたのかを学んでいます。
林田 実	社 経済や社会の動きを、数字を使って研究していきます。
藤井 敦	社 経済学は、無駄を省く人の行動を分析します。現実を観測されるデータから無駄（非効率）を見つけ出す方法について学びます。
前田 淳	社 お金が世界を駆け巡る様子を学びます。外国の株などを売買する取引が、今では盛んです。そのことで、世界経済がどんな影響を受けるのかを学修します。
前林 紀孝	社 マクロ経済学の理論手法を用いて、社会保障制度や累積する国債残高をどのように減らすべきかといった先進国が直面している財政問題を分析しています。

経済学部のつづき

経済学科のつづき	
柳井 雅人	社 戦 経済地理学を専攻しています。授業では、企業や産業の空間的、地域的な立地活動のダイナミズムを、具体的なケースを交えながら検討しています。

経営情報学科	
池田 欽一	社 コンピュータエージェントを用いた市場（電力オークション、株式、排出権取引）分析など、経済・経営分野でのシミュレーションを主とした分析をしています。
市原 勇一	専門は管理会計（組織運営のための会計）です。特に研究開発のような不確実性の高い状況や中小企業のような資源制約の大きい組織における管理会計の役割に関心があります。
浦野 恭平	社 戦 企業の戦略策定の知識、例えば、新規事業創出戦略、多角化戦略、競争戦略の策定や実行について学びます。将来、企業での戦略策定に関わりたい方を求めます。
久多里 桐子	株主の企業経営に対する規律付けについて研究しています。特に、議決権などの権利行使の観点から分析しています。
隈本 覚	情報科学が専門分野です。基礎理論に特に興味があります。プログラミング、コンピュータネットワークの授業をしています。
齋藤 朗宏	データの収集、分析、解釈を全般的に扱うデータ解析法を専門としています。データ解析を通して、物事をどう見るのかを学んで欲しいと考えています。
西澤 健次	社 会計学を専攻しています。企業の財政状態・成果(成績書)などをいかに書き表すか、いかに報告するかということを多角的に研究しています。
平山 克己	オペレーションズリサーチ(OR)が専門分野です。ORは経営の科学と呼ばれています。企業で用いられる人・物・金のシステムについて学びます。
別府 俊行	社 売れる仕組みづくりを企画するマーケティングを専攻しています。実践の場で役立つ技法や発想法などを学んでいます。
森脇 敏雄	専門は財務会計です。財務諸表等の企業情報の開示内容および時期をめぐる企業の動機、企業情報の開示が株式市場の効率性に与える影響を研究しています。
山下 剛	社 専門は経営組織論で、特に「組織と個人の統合」問題に関心を持っています。現在は、自己実現で著名なA.H.マズローの理論を再解釈し、その経営学に対する示唆を研究しています。
吉田 祐治	社 現在のように先のことが不確実な時代に、経営モデルでどのようにして最適な戦略を立てるのかというのを数理的に計算します。とくに、確率や統計を用いて様々な観点から経営判断をしてくか考えます。

文学部

比較文化学科	
生住 昌大	日本近代文学が専門です。現在は明治10年の西南戦争に取材した小説、新聞、錦絵の分析を通し、明治開化期に文学的表現が果たした役割について研究しています。
梶原 将志	社 ドイツの文化・芸術・思想、特に1800年頃の文学が専門。ドイツ語学習・留学も支援します。ドイツの懐もなかなか深いので、皆さんの様々な興味・関心の交差点にしてください。
門田 彩	専門は16、17世紀スペイン美術を中心とした西洋美術史です。また、美術と社会のかかわりや美術館の役割など、アートにまつわる様々な事柄について考えています。
河内 重雄	日本近現代文学において、知的障害者がどのように描かれているかを研究しています。多様な知的障害者表象を通して、近代以降の人間観を考えていきたいです。
佐藤 真人	社 私の専門分野は日本の宗教文化です。日本の伝統的宗教である神道と仏教とが相互に影響しあい共存してきた仕組みについて考えています。
五月女 晴恵	社 日本中世の絵巻を研究しています。院政期絵巻の優れた描写表現はもちろんのこと、絵巻の制作動機に、注文主の信仰や思想が反映した可能性についても考えています。
高山 智樹	「文化」とはそもそも何か、それは「政治」や「経済」とどのような関係にあるのか、といったことを、イギリスや日本の具体的な事例を材料にしながら、考えています。
田部井 世志子	社 専門は英米文学。講義では文学作品(小説、詩、映画、童話等)を扱い、様々な問題(生、死、愛、差別、ジェンダー、心理等)について議論をしながら考えていきます。
寺田 由美	社 私の専門分野は現代アメリカ史です。授業では、政治、社会、経済など多様な角度から総合的にアメリカの歴史を考えていきます。
鄧 紅	社 中国哲学思想史から中国現代史まで幅広く研究しています。その傍ら、日中文化交流史と日中関係を客観的に把握し考えていきたいと思います。
富田 広樹	社 18世紀スペインの文学を研究しています。素朴な疑問を出発点に、文学と社会の影響関係をテキストに即して考察しています。
中山 俊	社 主にフランスの有形・無形文化財の保存・活用や観光等について研究しています。歴史的な考察や現状の分析を通じて、未来の文化振興のあり方を一緒に考えていきましょう。
堀尾 香代子	古代日本語の文法・語義の研究。授業では広く古代語～現代語を対象に、日本語に潜む諸原理を学びます。日本語に関心を持つ全ての人を歓迎します。
前田 譲治	社 アメリカのユダヤ系作家の研究を行っています。授業では、文学や映画の背後に潜んでいる、アメリカ人の価値観や美意識の本質に迫ります。
真鍋 昌賢	社 専門は、メディア文化論・大衆文化論・民俗学。近現代日本における声・身体の表現が、様々なメディアと関わりながら、どのように生成・受容されてきたのかについて研究しています。
八百 啓介	社 戦 講義では「長崎街道と輸入砂糖」など17～19世紀における食文化史・文化交流史、ゼミでは北九州市と友好都市である韓国仁川市の博物館での展示と交流を行っています。
山口 裕子	インドネシアの島嶼社会を対象に、人間の生にとっての歴史の意味を社会人類学的に考えています。東南アジアの人、もの、情報の移動の研究もしています。
渡瀬 淳子	社 日本の中世文学を中心に研究しています。中世は現代に繋がる文化・伝統が多く確立された時代です。文学を学びつつ中世という時代の空気を伝えられたら嬉しいと思います。

人間関係学科	
入江 恵子	医療社会学とジェンダー研究を専門にしています。身体の経験に着目し、特に医療と人との関りについて聞き取り調査の手法を用いて研究しています。
岩松 文代	社 自然と人間社会の多様な関係性を見出そうとしています。主に植物を対象として、人々の認知、言語、思考、嗜好、行動との相互関係が生み出す文化現象を研究しています。
楠 凡之	社 「特別なニーズを持つ子ども」の問題を神経生理学的な要因と児童虐待などの環境的要因の両面から捉えながら、その指導、援助のあり方を考えています。
小賀 久	社 社会福祉の対象である生活問題認識を深め、障害があること、高齢であることを契機として生じる生活問題の解決・緩和を図る援助のあり方を検討します。
児玉 弥生	社 子どもの育ちに関わるコミュニティと学校の協同について研究しています。子どもの教育環境づくりに関し、調査や討論を通して共に学び合ひましょう。
税田 慶昭	幼児期におけるコミュニケーション発達過程の解明、障がいをもつ子どもたちの早期発見・早期支援について研究しています。
柴原 健太郎	専門はスポーツ心理学やスポーツメンタルトレーニングです。アスリートの競技力向上や良いパフォーマンスが発揮できるようになるための心理支援や研究を行っています。
高西 敏正	健康の保持増進には、生活習慣が密接にかかわっています。その中でも、運動習慣と健康の関連について生理的・心理的・社会的側面から研究しています。
竹川 大介	社 ライフワークは「わかるとはなにか」。ヒトの他者認知や環境適応、社会規範の普遍性について、フィールドワークによる人類学研究をもとに、進化的視点から解明したいと考えています。
田島 司	社 なぜ心理テストはおもしろいのか、なぜ友達に気をつかってしまうのか、なぜ流行の商品を買いたくなるか。実験や調査をしながら深く考えていきます。
田中 信利	社 ひとの不適合への理解や援助のあり方について、具体的な臨床事例を交えながら、理論的、実践的に学んでいます。
恒吉 紀寿	社 成人の主体的力量形成について研究しています。人間が様々な課題を克服していく主体として人格を完成させていくプロセスや条件について学んでいます。
野井 英明	社 地球や地域の環境がどのようにかわってきたのか、また、それが人間にどのように関わってきたのかについて研究しています。
濱野 健	社 社会学や文化研究を専門にしています。グローバルイゼーションによる地域社会や家族集団の変化などに注目し、理論と実証の両方から研究しています。
松本 亜紀	社 なぜ緊張すると頭が真っ白になったり、いつもは簡単にできることを失敗してしまったりするのだろうか。このような感情・注意・記憶の仕組みをテーマに研究をしています。
山下 智也	社 子どもの主体性を保障するための大人の居方・関わり方や、それを取り巻く子どもの環境（遊び場・居場所など）について、実践と研究の両輪でアプローチしています。

法学部

法律学科	
石塚 壮太郎	法 専門は憲法です。国家は、憲法により、市民生活の基盤を整備することを義務づけられています。これが憲法上どのように取り扱われるかを研究しています。
今泉 恵子	法 企業の経済活動に関わる「基礎的かつ重要な」法律問題について、最近の具体的なケースをも取り上げながら検討していきます。
大杉 一之	法 刑法学が専門で、違法論と正当化理論が研究テーマです。講義では、具体例を基礎に、犯罪の本質を重視して、理論的に犯罪の成立要件とその限界とを説明していきます。
岡本 舞子	法 専門は労働法です。労働者の健康上・私生活上の事情と就労の両立を実現する方法について、労働契約論と法制度の観点から研究しています。